EaseUS® Todo Backup マニュアル

Workstation / Server / Advanced Server 版



もくじ

ご利用頂きありがとうございます1
はじめに1
ハードウエア要件
システム要件
対応しているファイルシステム 2
対応しているハードディスク2
ライセンス認証
製品比較5
メイン画面7
バックアップ8
システムバックアップ
ディスク/ボリュームバックアップ10
コマンドラインバックアップ 12
ファイルバックアップ 15
スマートバックアップ 16
メールバックアップ 18
スケジュールバックアップ 19
スケジュール設定
バックアップ方法
バックアップクリーンアップ
バックアップタスクの編集24
バックアップオプション
クラウドにバックアップ 30
復元
システムの復元
ディスク/パーティションの復元 33
ファイルの復元
スマートバックアップの復元 37
メールの復元
参照して復元
個別ファイルの復元 39
システム移行
クローン
ディスククローン

パーティションクローン	44
上級者向けサーバーツール	46
Exchange のバックアップ	46
SQL バックアップ	1 8
ツール	51
イメージをチェック 5	51
ブータブルディスクの作成 5	52
テープ管理	53
Pre-OS を有効/無効にする 5	53
ISCSI イニシエーター E	55
PXE を有効/無効にする 5	55
P2V コピー	56
P2V 復元	58
P2V の変換	58
マウント/アンマウント 5	59
WinPE の特別ツール	31
Windows シェル	31
ドライバーマネージャー	31
ネットワークマネージャー	31
MBRの修理	31
パーティションのチェック	31
ログ	32
基本設定	32
ታポート	33
免責	34

ご利用頂きありがとうございます

EaseUS Todo Backup をご利用いただきありがとうございます。本製品は、重要なデータと OS を強力に保護する総合データバックアップソフトとして、全世界で百万を超える家庭用 PC、ワークステーション、サーバーで利用されています。

本製品は、その効率的かつ安定的なバックアップ方法で OS、電子メール、ディスク、パー ティション、ドキュメント、写真、音楽等の重要なデータを保護します。

また、本製品で作成できる信頼性の高い.pdb イメージファイルにより、システムのクラッシュ、パーティションやディスクの破損、ウイルス感染、データ損傷などの問題から迅速かつ容易に回復することができます。

はじめに

ここでは EaseUS Todo Backup を利用する上での基本要件と、ライセンス認証方法について 解説します。ご利用前に一読されることをお勧めいたします。

ハードウエア要件

500 MHz 以上のプロセッサー 1GB 以上の RAM、Windows 8/8.1/10 の場合は 2GB 以上 ハードディスクに 1GB 以上の空き領域 CD-R/RW、DVD-R/RW、DVD+R/RW もしくは DVD+R DL ドライブ キーボード、マウスまたはその他のポインティングデバイス

システム要件

本製品が動作対応している OS は以下の通りです。

- Windows XP®
- Windows Vista®
- Windows® 7
- Windows® 8
- Windows® 8.1
- Windows® 10
- Windows Server® 2003
- Windows Server® 2008

- Windows Server® 2008 R2
- Windows Server® 2012
- Windows Server® 2012 R2
- Windows Small Business Server 2003
- Windows Small Business Server 2008
- Windows Small Business Server 2011

対応しているファイルシステム

FAT12、 FAT16、 FAT32 および NTFS のファイルシステムに対応しています。その他のファ イルシステムは「その他」と表示されます。EaseUS Todo Backup はその他のパーティショ ン/ボリュームの、セクタバイセクタ方式のバックアップとクローンにも対応しています。

対応しているハードディスク

IDE、EIDE、SATA、ESATA、ATA、SCSI、iSCSI、USB 1.1/2.0/3.0 の各ディスクおよびファ イヤーワイヤーディスクに対応しています。

CD-R/RW、DVD-R/RW、DVD+R/RW、DVD+R DL へのバックアップイメージの保存にも対応しています。

また、ダイナミックディスク、MBR および GPT ディスクにも対応しています。EaseUS Todo Backup が対応しているディスク容量の上限は 16TB です。

ライセンス認証

EaseUS Todo Backup トライアル版を初めて起動するとライセンスコード入力画面が表示されます。25 桁のライセンスコードを入力すると、製品版としてご利用いただけるようになります。

ライセンス認証			×
Todo Backup	Workstation	Server	Advanced Server
ファイル/ディスク/パーティション/ Outlook メールバックアップと復元	~	~	~
フル/増分/差分/ スケジュールバックアップ	~	~	~
クラウドへのバックアップに対応	~	~	~
Windows Server 2012, 2008,2003,SBS(运対応	-	~	~
PXEネットワークブート	-	\checkmark	~
Exchange サーバーバックアップと復元	_	_	~
SQL サーバーバックアップと復元	_	-	×
	今すぐ購入	今すぐ購入	今すぐ購入
現在のライセンス: 試用版:残り30日 ライセンスコード:			
		ライセン	ス認証 後で

「後で」をクリックすると 30 日間の試用版として利用を開始します。画面左下の「ラ イセンス認証」をクリックすると、ライセンスコード入力画面を再表示できます。

🔶 EaseUS Todo Backup Trial					• – • ×
☑ あスク	タスク			新	図 へ 望 しいゆスク 復元 システム移行
★新しいタスク	タスク名	種類	状態	前回の結果	場所
∃ בט	システムバックアップ	システムバックアップ	完了	完了	D:\My Backups\システムパッ
うイセンス	スマートバックアップ	スマートバックアップ	ファイルを保護中。	完了	D:\My Backups\スマートパッ
ル ∨					
口 加ーン					
☑ イメージをチェック					
@、ブータブルディスクの作成					
▶ P2V⊐ピー					
回 P2V復元					
回 P2Vの変換					
⊠ テープ管理					
C SALE OF SALE	/				
30日 就用期間が残っています ライセンス認証					

オフライン認証

EaseUS Todo Backup はオフラインによるライセンス認証にも対応しています。 詳細は<u>こちら</u>を参照してください。



Copyright © 2004-2016 EaseUS. ALL RIGHTS RESERVED.

http://backup.easeus.jp/rd/about

マシンコードとはハードウエア情報に基づいて本製品が生成した独自のコードで、ライセンスコードに紐づけられています。

ライセンスコードの変更

ライセンスコードを新しいものへ変更する場合は、画面左列の「ライセンス」をクリック した後、画面右上の「変更」をクリックして認証画面を表示させてください。

EaseUS Todo Backup Adva	nced Server			e ×
図 タスク	ライセンス			「文更
╋新しいタスク	ライセンスコード	ライセンスの種類	使用済ライセンス番号	ライセンス番号
∃ דע	MATTE DAME LIGH COMMUNIC	Advanced Server	1	1
🛓 उनर्थ्य				/
タッール ∧				
	1			

注意:

製品の種類によってライセンスコードは異なります。変更には同じ製品のライセンスコー ドをご使用ください。

製品比較

EaseUS Todo Backup Enterprise には、Workstation、Server、Advanced Server、Technician の4製品が用意されています。

Workstation、Server、Advanced Server はトライアル版からのアップグレードが可能です。 Technician は別途インストールファイルが必要です。

トライアル版は 30 日間限定で全ての機能が利用できます。Technician のテストにはトライ アル版をご利用ください。 Workstation : 企業ユーザー向けバージョンで、ダイナミックボリュームのバックアップ/ クローン、システム移行、仮想化などの追加機能もご利用いただけます。

Server : Windows Server 向けのバージョンで Workstation の機能を全ての Windows Server OS でご利用いただくことができます。

Advanced Server : Windows Server の上級ユーザー向けバージョンで Server の機能に加え、Exchange Server や Microsoft SQL のバックアップにも対応しています。

Technician : システム管理者や技術者など IT 専門家向けバージョンで製品の全機能に加 えてテクニカルサービスもご利用いただくことができます。

製品機能比較

	Workstation	Server	Advanced Server	Technician
スマートバックアップ	0	0	0	0
ディスク/パーティション バックアップ	0	0	0	0
ファイルバックアップ	0	0	0	0
増分/差分バックアップ	0	0	0	0
ダイナミックボリュームの バックアップ/クローン	0	0	0	0
定期バックアップ	0	0	0	0
システムバックアップ	0	0	0	0
イメージの保存設定	0	0	0	0
システム移行	0	0	0	0
MS SQL サーバーの バックアップ			0	0
Exchange サーバーの			0	0
バックアップ			0	0
テープにバックアップ	0	0	0	0
WinPE ブータブルディスク	0	0	0	0
Pre-OS の有効化	0	0	0	0

Windows 右クリック	0		0	0
バックアップメニュー	0	0	0	0
MS サーバーOS 対応		0	0	0
ビジュアル化(P2V)	0	0	0	0
Outlook のバックアップ	0	0	0	0
E-mail 通知、pre/post	0	0	0	0
コマンド	0	0	0	0
除外ファイル	0	0	0	0
コマンドラインバックアップ	0	0	0	0
クラウドにバックアップ	0	0	0	0

メイン画面

メイン画面は3画面で構成されています。

EaseUS Todo Backup Advar	nced Server		製品情報と設定	まここをクリック	
バックアップタスタ	לגפ			新	☑ ○ 望 しいタスク 復元 システム移行
	タスク名	種類	状態	前回の結果	場所
די 🗉 🗉	ディスク 0	ディスクパーティションバ.	完了	完了	D:\My Backups\ディスク 0
その他	צידלייאורדד	ファイルバックアップ	完了	完了	D:\My Backups\ファイル/เง
	システムバックアップ	システムバックアップ	完了	完了	D:\My Backups\システムパッ
ダツール ~	スマートバックアップ	スマートバックアップ	ファイルを保護中。	完了	D:\My Backups\スマートパッ
ロ クローン					
☑ イメージをチェック			ハックアッフ管理と復	元	
@、ブータブルディスクの作成	L				
回 P2V復元					
P2Vの変換 P2Vの変換					
፼ テープ管理					
רלידעלד 🛛					
토 iSCSI서그沙I - 숏~					
同 PreOSを有効化					

バックアップタスクの作成

利用可能な全てのバックアップオプションがここから選択できます。「新しいタスク」をク リックしてタスク作成画面に進んでください。

個別の機能に関する詳細は、各自別項をご参照ください。

バックアップ管理と復元

「バックアップ管理と復元」には、全てのバックアップタスクのリストが表示されます。 リストの各行にはタスク名、イメージファイルの場所や状態などが表示されます。

バックアップタスクが選択されていない時は「復元」、「システム移行」の二つの復元オプ ションが表示されています。いずれかのバックアップタスクが選択されると、「復元」のみ が表示されます。

その他

「ログ」、「ライセンス」および各種「ツール」メニューが含まれます。

バックアップ

重要なデータのコピーを取ることをバックアップと言い、PC にトラブルが発生した際の復 旧作業に利用します。従って、バックアップの主な目的とはシステムのクラッシュやデー タ損失に備える有効な手段であると言えます。

本製品を利用するメリットは次の通りです:

1. 定期的なバックアップを行うことができます(特別な操作を行うことなく自動的にバッ クアップを行います)。

2. 増分および差分バックアップにも対応しています。(最初に全てのバックアップを実行した後は、バックアップにかかる時間やディスク領域を削減することができます)。

 複数のバックアップデータを保存し、その中から最適なものを選んで復元することもで きます。(例:同一ディスク上に1週間前、2週間前および3週間前のデータをバックアッ プし、その中からいつの状態に復元するか選ぶことができます)。

 バックアップファイルをマウントして検索することができます(そこから探したいファ イルを素早く見つけ、コピーすることも可能です)。

システムのイメージを元のドライブ、あるいは新しいドライブに復元することで、簡単に システムを再起動できます。

ヒント:

迅速かつ確実なバックアップをおこなうため、全てのプログラムを終了してからバックア ップ作業を実行してください。また、バックアップしたイメージファイルの保存先はバッ クアップ元のファイルとは異なるパーティションやディスクにしてください。

システムバックアップ

言うまでもなく Windows OS は非常に重要であり、システムクラッシュに備えてそれを守る

ことが必要です。EaseUS Todo Backup は**システムバックアップ**によってその手段を提供し ます。まず「新しいタスク」をクリックし、バックアップタスクの作成画面を表示します。 次に「ディスク/ボリューム」をクリックし、「システムバックアップ」のチェックボック スをチェックしてください。自動的に Windows の起動に必要なパーティションが選択され ます。

バックアップ				□ ×
ディスク/ボリューム ファイル メール	Exchangeデータベ:	ース Excha	angeメール	
このPC この	_			
🔺 🔄 🚍 ディスク O Basic MBR	127.00 GB			
🜌 🛄 システム(*:)	シンプル	NTFS	システム 認証 基本	空き容量 71.85 MB /
🗹 🦾 (C:)	シンプル	NTFS	ブート 基本	空き容量 103. <mark>14 GB</mark>
 ー ディスク 1 Basic MBR 	127.00 GB		_	
🔲 🛄 דעב-ג(D:)	シンプル	NTFS	基本 バック 変更で	マップ先のターゲットを する場合はここをクリック
<u>ል</u> -			_	
D:\My Backups		5	空き容量 124.47 GB / 127.0	0 GB ~ 参照
プラン名と説明:				
システムバックアップ				
説明				
パックアッププラン:				
🗿 スケジュールオフ 💦 💰 バックアップク	フリーンアップ:なし			
✿ バックアップオプション 上級者向	」はバックアップ設	定	C	実行 キャンセル

基本設定:

ターゲット:「参照...」をクリックしてバックアップの保存先を指定します。 プラン名と説明:検索を容易にするため、プラン名とプランに関する説明を設定します。

上級者向けバックアップ設定:

これらを設定することで、フレキシブルな自動バックアッププランを作成することができます。「スケジュール」でバックアップの期間やタイミングを、「バックアップオプション」で高度な各種パラメーターを、「バックアップクリーンアップ」でバックアップイメージの保存ルールを設定することができます。

個別の機能に関する詳細は、各自別項をご参照ください。

ヒント:

これらの設定はあくまで上級者向けです。設定を行わなくてもバックアップを作成するこ とができます。

ディスク/ボリュームバックアップ

お使いの PC に複数のパーティションを持つハードディスクがある場合、システムバックア ップは、この中でシステムの起動に必要なパーティションだけをバックアップします。残 りのパーティションをバックアップする場合は、「ディスク/ボリュームバックアップ」を 使用しましょう。

バックアップ				□ ×			
ディスク/ボリューム ファイル メール	Exchangeデータベー	-ス Exch	angeX —Jl				
▲ このPC							
🗆 🛄 システムバックアップ							
🔺 🔳 🛄 ディスク 0 Basic MBR	127.00 GB						
🗆 🗔 システム(*:)	シンプル	NTFS	システム 認証 基本	空き容量 71.85 MB /			
🗹 🛄 (C:)	シンプル	NTFS	ブート 基本	空き容量 103.14 GB			
🔺 🗹 🛄 ディスク 1 Basic MBR	127.00 GB		_				
🗹 🛄 ボリューム(D:)	シンプル	NTFS	基本 バック 軍す	ファップのターゲットを変し、 ス場合けにこを力しい力			
			~				
D:\My Backups			空き容量 124.47 GB / 127.0	00 GB ~ 参照			
プラン名と説明:							
ディスクバックアップ							
説明							
◎ スケジュールオフ ペ バックアップクリーンアップ:なし							
➡ バックアップオプション 上級者	向けバックアップ部	淀		実行 キャンセル			

基本設定:

ターゲット:「参照...」をクリックしてバックアップの保存先を指定します。 プラン名と説明:検索を容易にするため、プラン名とプランに関する説明を設定します。

上級者向けバックアップ設定:

これらを設定することで、フレキシブルな自動バックアッププランを作成することができます。「スケジュール」でバックアップの期間やタイミングを、「バックアップオプション」

で高度な各種パラメーターを、「バックアップクリーンアップ」でバックアップイメージの 保存ルールを設定することができます。

個別の機能に関する詳細は、各自別項をご参照ください。

ヒント:

これらの設定はあくまで上級者向けです。設定を行わなくてもバックアップを作成することができます。

よくある質問:

 「システムバックアップ」と「ディスク/ボリュームバックアップ」の違いは何ですか?
 A: 「ディスク/ボリュームバックアップ」では表示された全てのパーティションをバック アップ対象として選択することができます。「システムバックアップ」ではシステム起動を つかさどるパーティションを自動選択し、これを変更することはできません。
 詳細は<u>こちら</u>をご参照ください。(英語)

2. ネットワークドライブをバックアップできますか?

A: いいえ。EaseUS Todo Backup ではネットワークドライブ上のファイルやデータしかバッ クアップすることができません。

3. バックアップイメージはどこに保存したら良いでしょうか?

A: ローカルのハードディスク、ネットワークドライブおよびその他の記憶媒体に保存する ことができます。ただし、バックアップ元のパーティションと同一のパーティション内に は保存しないでください。

4.ダイナミックボリュームとは何ですか? EaseUS Todo Backup ではバックアップをサポ ートしていますか?

A:ダイナミックボリュームとはダイナミックディスクの一部です。ダイナミックディスク はLDM (Logical Disk Manager) データベースを使用してボリュームを管理します。ベーシ ックディスクと異なり、ダイナミックディスクは複数のボリュームに分割することができ ます。ダイナミックボリュームはデータの保存性能に秀でており、ミラーボリュームにお けるデータ冗長性や、RAID-5 ボリュームにおける耐障害性など、様々な機能を有していま す。

EaseUS Todo Backup では、ダイナミックボリュームのバックアップもサポートしています。

バックアップ手順も、ベーシックディスクのバックアップ手順と同じです。大きな違いは 表示方法です。全てのボリュームは、別のディスクに存在しても、同一のディスク上に存 在するものとして表示されます。

コマンドラインバックアップ

EaseUS Todo Backup は、プログラム画面からではなく、Windows のコマンドラインを利用 して直接バックアップタスクを作成することができます。作成できるのはディスクバック アップ、パーティションバックアップ、およびシステムバックアップです。

まずは Windows のコマンドプロンプトを管理者権限で起動してください。次に「etbcmd」 と入力して、EaseUS Todo Backup コマンドラインツールを起動します:



本ツールで使用できる全てのコマンドとパラメーターは次の通りです:

/a <action></action>	Specify the operation to execute.
	list: Check disk/partition details
	execute: Execute backup task immediately
/?	EaseUS Todo Backup command line help information.
Operation:list	
/d <disk></disk>	Select disk number to view. If the disk number is not specified, all disk
	information will be displayed.
/?	EaseUS Todo Backup command line help information.
Operation:create	
/n <name></name>	Set backup task name. If the specified task already exists, it will
	automatically add number (1),(2) after the task name.
/d <description></description>	(Optional) Add task description.
/s <source/>	Specify backup source (such as system backup, disk backup or partition
	backup) Fan anam 1. (a anatan Gastan badam (a 1.0.2:2 F. Paskam Diski Disk. 2
	Por example: /s system bystem backup /s 1,2,5.2,r back up biski, bisk 2, Partition 2 of Disk 3 and Partition F.
/1 <location></location>	(Ontional) Specify storage path of backup image (local or network path is
	available). If no storage path is specified, the backup image will be saved
	in default path.
/u <username></username>	(If set to back up to network storage, network credential info is needed)
	Network access username.
/p <password></password>	(If set to back up to network storage, network credential info is needed)
In Zanamath	Network access password.
/e (compress)	(Optional) Set image compression level. If the parameter is not set, the
/c (compress/	image compression level is normal.
	0: no compression
	1: normal compression
	2: medium compression
	3: high compression
/i <splitting></splitting>	(Optional) Set image splitting size(MB). If the parameter is not set or it
In Incus	is set to U, the image won't be split.
/r \raw/	(Optional) Execute sector-level backup. If the parameter is not set, the
	0: non-sector-level backup
	1: sector-level backup
/t <silent></silent>	(Optional) Silent mode. If the parameter is not set, it defaults to
	non-silent mode.
	0. non-silent mode
10	l: silent mode
TI	Laseus lodo backup command line help information.
Operation:execute	
/n <name></name>	Set backup task name.
/t <type></type>	Specify backup type. If the parameter is not specified, the backup type is
	full backup.
	inc: incremental backup
	full: full hackup
/s (silent)	(Optional) Silent mode. If the parameter is not set, it defaults to
	non-silent mode.
	0: non-silent mode
19365	1: silent mode
/?	EaseUS Todo Backup command line help information.

バックアップタスクの作成例:

For example: etbcmd.exe /a create /n "Demo Task" /d "This is a Demo Task" /s 0:1 /1 "D:\my backup" /e "password" /c 1 /i 0 /r 0 /t 0

バックアップを作成する前に、目的の場所を探すため、全てのディスクボリュームとパー ティションを表示させてください。

C:∖₩	IND(D₩S\syste	em32> <mark>ətbcmd /a 1</mark>	ist					
Disk					142415, C:				
ID	Le	tter			Used	Unused			Start (MB)
0	*:		Unknown	300.00 MB	300.00 MB	OBytes	None	Primary	1
1	*:		Unknown	100.00 MB	100.00 MB	OBytes	System	Primary	301
2	*:		Unknown	128.00 MB	128.00 MB	OBytes	None	Primary	401
3	C:	System	NTFS	77.41 GB	57.19 GB	20.22 GB	Boot	Primary	529
4	*:		Unknown	450.00 MB	450.00 MB	OBytes	None	Primary	79796
5	D:	VMware	NTFS	79.10 GB	75.82 GB	3.28 GB	None	Primary	80246
6	E:	∛ork	NTFS	78.13 GB	32.95 GB	45.18 GB	None	Primary	161244
7	F:	Download	I NTFS	62.50 GB	20.27 GB	42.23 GB	None	Primary	241244

OS のシステムバックアップを行う場合は、「/s system 」のパラメーターを使用してください。EaseUS Todo Backup がシステムと起動に必要なパーティションを自動選択します。

手動で OS のディスク/パーティションバックアップを行う場合は、以下のようにコマンド を入力してください:



バックアップイメージをネットワークドライブに保存するには、以下のようにコマンドを 入力してください :

C:\\INDO\S\system32>etbcmd /a create /n Demo /s 0:1 /1	\\192.168.1.110\Backup	/u zhihui	/p easeus
Task name: Demo	Path	Username	Password
Compress level: Normal compression			
The image is unencrypted			
Backup task type: Local Full Disk Backup			
The content of backup: 1 partitions without drive lett	er (Unknown Partition).		
Initializing backup, please wait			
Backup is running, please wait patiently.			
Analyzing file system on partition 1 of disk 0.			
Backing up file system on partition 1 of disk 0.			
Process: 82%			

ファイルバックアップ

長期間に渡って PC を使用していくうちに、ドキュメント、写真、音楽、動画などを含む重要なデータが蓄積されます。これらを定期的にバックアップすることが推奨されます。ファイルバックアップ機能を使用すれば、予期せぬデータ損傷に備えることができます。

バックアップ				□ ×
ディスク/ボリューム ファイル >	メール Exchangeデータベース	ExchangeX	-JJ	
▷ □ □ = = = = = = = = = = = = = = = = =	☑ 名前	サイズ	種類	変更日時
> 🗹 📄 K#12X74	🗹 🗁 My Music		วสมผั-	2016/01/12 10:29
🖻 🗹 🖟 お気に入り	🗹 🗁 My Pictures		<i>ว</i> สมผั-	2016/01/12 10:29
⊳ 💷 🖵 בשPC	🗹 🗁 My Videos		フォルダー	2016/01/12 10:29
▷ 🗆 🜍 ネットワーク	🗹 🖼 desktop.ini	402 パイト	構成設定	2016/01/12 14:03
▷ 🗹 🖵 デスクトップ				
ター グット :			バックアッ する場	ブのターゲットを変更 含合はここをクリック
D:\My Backups		空き容望	124.44 GB / 127.0	00 GB ~ 参照
プラン名と説明:				
ファイルバックアップ				
説明				
バックアッププラン: カスタム の スケジュールオフ ダ バッ				
 ↓, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	上級者向けバックアップ設	定	[実行 キャンセル

基本設定:

ターゲット:「参照...」をクリックしてバックアップの保存先を指定します。 プラン名と説明:検索を容易にするため、プラン名とプランに関する説明を設定します。

上級者向けバックアップ設定:

これらを設定することで、フレキシブルな自動バックアッププランを作成することができます。「スケジュール」でバックアップの期間やタイミングを、「バックアップオプション」で高度な各種パラメーターを、「バックアップクリーンアップ」でバックアップイメージの保存ルールを設定することができます。

個別の機能に関する詳細は、各自別項をご参照ください。

ヒント:

これらの設定はあくまで上級者向けです。設定を行わなくてもバックアップを作成することができます。

スマートバックアップ

バージョン 9.2 以降のスマートバックアップは、ファイルバックアップの機能に含まれて います。スマートバックアップは、30 分おきに指定されたファイルやフォルダを確認し、 変更があった場合に新しいバックアップ作成します。

バックアップ				□ ×
ディスク/ボリューム ファイル >	メール Exchangeデータベース	ExchangeX	-JU	
> 🗆 🗁 วาวีวีป	☑ 名前	サイズ	種類	変更日時
> 🗹 📄 ドキュメント	🗹 🗁 My Music		วสมเด็	2016/01/12 10:29
🖻 🔽 品気に入り	🗹 🗁 My Pictures		วสมเด็	2016/01/12 10:29
Image: Image	🗹 🗁 My Videos		วสมเด็	2016/01/12 10:29
▷ 🗆 🕄 ネットワーク	🛃 📑 desktop.ini	402 バイト	構成設定	2016/01/12 14:03
🕨 🗹 🖵 デスクトップ				
<i>ኳ−</i> ቻット:				
D:\My Backups		空き容量	₫ 124.44 GB / 127.0	00 GB ~ 参照
プラン名と説明:				
ファイルバックアップ				
記明				
	ニュー スマートバック	フアップを 🔪		
		1200		
◎ スケジュールオガスダム	1-277 - 186		_	
バックアップ				実行 キャンセル

注意:

スマートバックアップは、ディスク/ボリュームバックアップには対応していません。 ネットワーク上にあるファイルやフォルダのバックアップにも対応していません。

スマートバックアップはこのような場合にご使用ください

ケース:

1. 頻繁に変更されるデータベースファイルをバックアップしたい

2. 頻繁に更新される共有ファイルをバックアップしたい

3. 不具合の発生時に、正常なファイルへの修復や以前の状態への復元を行うため、複数の バックアップポイントを作成しておきたい

生成されるバックアップイメージの種類

バックアップイメージには、完全バックアップ、増分バックアップ、差分バックアップの3 種類があります。

スマートバックアップによって、最初に作成されるバックアップイメージは完全バックア ップです。そこから7日おきに、新たな完全バックアップが作成されます。 他の日は1日の最初に差分バックアップが作成され、それ以降は増分バックアップが作成 されます。7日目には差分バックアップは作成されず、再び完全バックアップが作成されま す。

PCの電源が切られている場合、またはなんらかの原因で PC が機能していない場合は、無効 日とみなされバックアップは作成されません。

古いイメージファイルの取り扱い

ハードディスク容量を確保するため、スマートバックアップは次のルールに従って古いイ メージファイルを削除します。

1. 前日に作成された全ての増分ファイルは、翌日最初のイメージファイルが生成された時 点で消去されます。

2. 一度に保存できる差分イメージの上限は6個です。7個目のファイルが生成された後、 最初のファイルは削除されます。

3. 同様に、一度に保存できる完全イメージファイルの上限は2個です。

ヒント:

スマートバックアップは、Windows エクスプローラ上でフォルダ/ファイルを右クリックす ると表示される、コンテキストメニューからも開始できます。その場合、コンテキストメ ニューから「選択したファイルをスマートバックアップに追加」を選択してください。

メールバックアップ

メールは今やコミュニケーションの主要な手段であり、Microsoft Outlook は最も多くのユ ーザーにより使用されています。時間が経つにつれ、重要なメールも増えてくることでし ょう。EaseUS Todo Backup を利用すれば、それらをバックアップして不測の事態に備える ことができます。

ヒント:

本機能は Windows Live Mail および Mozilla Thunderbird には対応していません。

バックアップ				□ ×
ディスク/ボリューム	ファイル	x-11	Exchangeデータベース	Exchange치ール
Microsof	ft Outlook			
				ターゲットを変更する
レージット:				
C:\My Backups				空き容量 359.18 GB / 440.05 GB 🛛 🗸 参照…
プラン名と説明:				
Outlookバックアップ				
說明				
バックアッププラン:				
◎ スケジュールオフ	* .	バックアップ	クリーンアップ:なし	
🌣 バックアップオブ	לובלי	上級者	向けバックアップ設定	実行

バックアップするコンテンツを指定します。メールボックス全体のほか個別フォルダ、連絡先、カレンダーをバックアップすることができます。

基本設定:

ターゲット:「参照...」をクリックしてバックアップの保存先を指定します。 プラン名と説明:検索を容易にするため、プラン名とプランに関する説明を設定します。 上級者向けバックアップ設定:

これらを設定することで、フレキシブルな自動バックアッププランを作成することができます。「スケジュール」でバックアップの期間やタイミングを、「バックアップオプション」で高度な各種パラメーターを、「バックアップクリーンアップ」でバックアップイメージの保存ルールを設定することができます。

個別の機能に関する詳細は、各自別項をご参照ください。

ヒント:

これらの設定はあくまで上級者向けです。設定を行わなくてもバックアップを作成することができます。

スケジュールバックアップ

バックアップスケジュールを設定することで、一定間隔または指定した時点で自動的にバックアップが実行されます。

ここでは、スケジュールの設定方法と、バックアップイメージの保存設定について説明します。

スケジュール設定

種類

EaseUS Todo Backup では、5 種類のバックアップ方法を選択できます。

バックアップ方法				×
バックアップ方法 1回 毎日 毎週 毎月 -1ベント時	 時間を指定して実行: ~ 0:00 ・ ・ パックアップ方法 増分 ・ 毎日初めに実行するパックアップ 完全 ・ パックアップを実行するためPCを起動 スタートアップ時に実行できなかったパックアップをシャットダウン時に実行 Windows ログインユーザー: 	パスワード:		×
			保存	キャンセル

1回

1回限りのバックアップを実行する時間を指定します。

毎日

毎日指定された時間、または指定された間隔で自動的にバックアップが実行されます。

時間を指定して実行:バックアップを行う時間を指定します。指定時間を増やしたい場合

は まを、削除したい場合は をクリックしてください。1日最大5回まで設定できます。

間隔を指定して実行:バックアップの開始時間と完了時間、および間隔を指定します。例 えば開始を午前6時、完了を午前10時、間隔を2時間とした場合、6時、8時および10時 にバックアップが行われます。

毎週

毎週、指定された曜日の指定された時間にバックアップが実行されます。

毎月

毎月、指定された日の指定された時間にバックアップが実行されます。指定方法は日付、 もしくは週と曜日から選択できます。同時にバックアップ実行時間の設定が必要です。 **曜日を指定して実行**:バックアップを実行する週と曜日、および時間を指定します。例) 毎月第1月曜の午前2時にバックアップを実行

日付を指定して実行:バックアップを実行する日付と時間を指定します。

イベント時

以下のイベント発生時にバックアップが自動的に実行されます。

システム起動時:システム起動時にバックアップを実行。
 シャットダウン:シャットダウン時にバックアップを実行
 ログオン時:Windows ヘログオンした時にバックアップを実行。
 ログオフ時:Windows からログオフした時にバックアップを実行。
 USB デバイス接続時:予め指定した USB デバイスが接続された時にバックアップを実行。

1日1回

有効にした場合、1日1回のみバックアップを実行します。

日付を指定して実行:

バックアップ実行日を指定します。無効にした場合は毎日バックアップを行います。

スタートアップ時に前回実行できなかったバックアップを実行

毎日、毎週、および毎月のバックアップを設定していたにもかかわらず、電源の不具合や PC のシャットダウンなどで実行できなかった場合、次の PC 起動時にバックアップを自動で 実行します。

注意:

Microsoft Exchange では「イベント時」機能はご利用いただけません。

バックアップ方法

バックアップ方法には「完全バックアップ」、「増分バックアップ」、「差分バックアップ」 の3種類があります。

バックアップ方法		×
10	曜日を指定して実行: 日曜 月曜 火曜 水曜 木曜 金曜 土曜	
毎日	時間	
毎週	0:00	
毎月	バックアップ方法	
イベント時	増分 ∨ 完全 増分 差分 マ パックアップを実行するためPCを起動 マ スタートアップ時に実行できなかったパックアップをシャットダウン時に実行	
	Windows ログインユーザー: パスワード:	

増分または差分バックアップを選択した場合、最初のバックアップを「毎日」、「毎週」、「毎 月」から選択することでバックアップイメージのチェーンを短縮することができます。

保存 キャンセル

完全バックアップ、差分バックアップ、増分バックアップの違いは<u>こちら</u>(英語)をご参照ください。

注意:

スケジュールバックアップの設定は、管理者権限を持つアカウントで行うことを推奨しま す。

バックアップクリーンアップ

長期間に渡ってバックアップを繰り返すと、保存先ディスクの容量が圧迫されていきます。 ここで古いバックアップイメージの削除ルールを設定することで、ディスク容量を確保で きます。

バックアップクリーンアップ			×	
以下より古い日付のバックアップイメージを削除				
1				
☑ 初めのイメージを削除しない				
□ イメージファイルを結合して保存 (複数のイメージがかさばらないようにできますが、バックアップに時間がかかりま)	ます。)			
		OK	キャンセル	

古いバックアップイメージは設定された期限、個数等の条件に従って削除されます。

初めのイメージを削除しない

有効にした場合、最初に保存したバックアップイメージは保存するバックアップイメージの数には含まれず、削除ルールによって削除されなくなります。

イメージファイルを結合して保存

有効にした場合、イメージファイルを結合してディスク領域を節約します。ただし、バッ クアップ作業に時間がかかります。

詳細は<u>こちら</u>をご参照ください。(英語)

バックアップタスクの編集

以下の画面から、作成済みのバックアップタスクを編集することができます。編集メニュ ーは「復元」、「バックアップ」、「有効化/無効化」、「タスクを編集」、「詳細」、「その他」の 中から使用可能なものが表示されます。

EaseUS Todo Backup Advan	ced Server					
🗹 タスク	タスク			 への (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	 ブ▼ 無効化	
╋新しいタスク	タスク名	種類	状態		前回の結果	場所
דעם 🗉	ファイルバックアップ (3)	ファイルバックアップ	次回の実行日時: 20	16/06/29 18:15	完了	D:\My Backups\ファイル/ เ้ษ
■ ライヤンス	ディスク 1	ディスクパーティションバ	完了		完了	D:\My Backups\ディスク 1
	システムバックアップ	システムバックアップ	完了		完了	D:\My Backups\システムパッ
19 V-11 ~	スマートバックアップ	スマートバックアップ	ファイルを保護中。		完了	D:\My Backups\スマートパッ
豆 クローン	ファイルバックアップ (1)	ファイルバックアップ	完了		完了	D:\My Backups\ファイル/ ベッ
☑ イメージをチェック	ファイルバックアップ	ファイルバックアップ	完了		完了	D:\My Backups\ファイル/ ベッ
@、ブータブルディスクの作成						
■ P2V⊐ピー						
回 P2V復元						
回 P2Vの変換						
四 テープ管理						
日 マウント/アンマウント						
토 iSCSIAIST - A-						
同 PreOSを有効化						
@ PXEを有効化						

復元

バックアップイメージからファイルを復元します。詳細は別項をご参照ください。

バックアップ

完全バックアップ、増分バックアップまたは差分バックアップのいずれかを選んで即座に 実行します。スケジュールバックアップが設定されている場合、次回以降のスケジュール バックアップにはカウントされません。

タスクを編集

作成したバックアップタスクに変更を加えることができます。

詳細

「基本情報」、「バックアップイメージ」、「バックアップ詳細」が含まれます。手動でバッ クアップイメージを削除するには「バックアップイメージ」をクリックしてください。

その他

イメージをチェック:詳細は別項をご参照ください。

P2V 変換: データを仮想ディスクファイルに変換し、VMware Workstation や MS Virtual PC で利用できるようにします。詳細は別項で説明します。

P2V 復元:システムを仮想ディスクファイルに変換し、VMware Workstation や MS Virtual PC で利用できるようにします。詳細は別項で説明します。

バックアップを削除:バックアップタスクのみを削除します。「イメージファイルの削除」 にチェックを入れると、バックアップイメージも同時に削除されます。

バックアップオプション

バックアップオプションは、作成済みのタスクと新しいタスクの両方で設定可能です。

パフォーマンス

圧縮、優先度、分割バックアップ、インターネット転送速度が含まれます。

バックアップオプション			×
パフォーマンス	<u></u> <u> </u> <u> </u>		
パスワード設定	標準		
Eメール通知	優先度 標準 ──		
カスタムコマンド	分割パックアップ		
オフサイトコピー			
バックアップモード	MB (サイズを指定してください。最小で50MBです。)		
ファイルフィルター	インターネット転送速度 0 ◇ MB		
	初期設定に戻す	保存	キャンセル

圧縮

バックアップファイルは圧縮することができます。プルダウンメニューから圧縮率を選択 してください。圧縮率が高いほどイメージファイルのサイズが小さくなります。

優先度

Windows 上では複数のアプリケーションが同時に実行されていますが、ここで優先度を設定 することでバックアップを優先的に実行することができます。

分割バックアップ

大容量のイメージファイルを小さく分けて複数枚の DVD に保存すると言った場合のように、 バックアップイメージを数個に分割することができます。

自動:保存媒体のファイルシステムに基づいて最適なサイズに分割します。

手動: 既定のサイズから選択、あるいは分割サイズを直接入力します。最小サイズは 50MB です。

ネットワーク転送速度

0 Mbps に設定した場合は無制限となり、利用可能な全ての出入カリソースが本製品に割り 当てられます。

注意:

jpg、pdf、mp3 などもともと高圧縮率のファイルが含まれる場合には、バックアップイメー ジの圧縮率を「高」にした場合でも、イメージのサイズが大きく圧縮されない場合があり ます。

パスワード設定

バックアップファイルをパスワードで保護するには、「バックアップ暗号化を有効にする」 を有効にしてください。パスワードの文字数は 15 文字未満です。パスワードの保護には AES256 アルゴリズムを採用しています。

パスワードは忘れないように保存してください。パスワードを忘れた場合、暗号化を解除 することはできません。

E-mail 通知

ログを直接確認する以外に、E-mail によってバックアッププランの結果を通知することができます。

SMTP やその他の設定値を入力すればバックアッププランの結果をメールで受け取ることができます。詳細は<u>こちら</u>を参照してください。(英語)

カスタムコマンド

バックアップ完了後に PC をシャットダウンするなど、バックアップの前後いずれかでコマ ンドを実行することができます。詳細は<u>こちら</u>を参照してください。(英語)

オフサイトコピー

バックアップイメージをより厳重に保管するには、オフサイトコピーを設定する方法があります。これにより、バックアップが完了したイメージを自動的に指定した FTP 上に複製できます。

バックアップオプション			×
パフォーマンス	□ FTPコピーを有効化		
パスワード設定	FTPアドレス	21	
EX 一儿通知	 ユーザー名 □ 匿名 □ パッシブモード 	■ パスワード	
カスタムコマンド	再試行		
オフサイトコピー	0		
バックアップモード	テスト接続		
ファイルフィルター			
	初期設定に戻す	保存	キャンセル

基本設定:

FTP アドレス: サブディレクトリを含む FTP アドレスを入力します。

ポート: FTP 接続に使用するポート番号を入力します。

ユーザー名とパスワード:FTP サーバーに接続する際のユーザー名とパスワードを入力します。

注意:

FTP への接続にパスワードとユーザー名を設定しない、もしくは全ユーザーにアクセスを許可する場合は「匿名」にチェックを入れてください。

追加設定:

再試行: 再試行する回数を設定します。何らかの理由で FTP サーバーに接続できなかった 場合、指定した回数だけ再接続を試みます。

パッシブモード: FTP には「PORT」と「PASV」の2種類のモードがあります。PORT モード が初期設定されています。チェックを入れると PASV モードに変更されます。 テスト接続:設定された内容で FTP サーバーへの接続を確立できるかテストします。

バックアップモード

バックアップオプション		×
バックアップオプション パフォーマンス パスワード設定 Eメール通知 カスタムコマンド オフサイトコピー バックアップモード ファイルフィルター	ディスク/ボリュームバックアップ セクタバイセクタバックアップ ファイルバックアップ ジックアップのファイルセキュリティ設定を保存 再解析ポイントに関するコンテンツをすべて含める	×
	初期設定に戻す	ねンセル

セクタバイセクタバックアップ: チェックを入れると、すべてのデータセクタとブランク がバックアップの対象になります。これはファイルシステムエラーが発生した時に有効で すが、通常のバックアップと比較してイメージサイズが大きくなり、バックアップ速度が 遅くなります。

バックアップのファイルセキュリティ設定を保存:チェックを入れると、NTFS 暗号化ファ イルのセキュリティ属性が保存されます。

再解析ポイントに関するコンテンツをすべて含める:チェックを入れると、すべての Windows 再解析ポイントまたはリンクをバックアップに含めます。この機能はイメージサイ ズが巨大化するため推奨されません。

ファイルフィルター

ファイルフィルターにより、不要なファイル/フォルダをバックアップから除外できます。

パスワード設定 \$Recycle.Bin ドッレ通知 *.pbd ホ.mp *.tmp カスタムコマンド C.\Users\User\AppData\Local\Temp オフサイトコピー C.\Users\User\AppData\Local\Microsoft\Windows\Temporary Internet Files パッグアップモード 追加 ファイルフィルター ************************************	
初期設定に戻す	JL I

以下の条件を満たしているファイルを除外:除外する対象に新しいファイル/フォルダを追加するには、[追加]をクリックします。追加されたファイル/フォルダを削除するには、ファイル/フォルダを選択して[削除]をクリックします。

クラウドにバックアップ

EaseUS Todo Backup で作成した「ファイルバックアップ」、「スマートバックアップ」、「メ ールバックアップ」および「Exchange バックアップ」をクラウド上に保存することができ ます。現在対応しているクラウドは OneDrive、DropBox および Google ドライブです。



クラウドアカウントは使用するクラウドを選択後に表示されるウェブ画面で設定します。 Google ドライブの場合、次のような画面が表示されます:

≁ Eas	eUS Todo	Backup か ま	次の許可をり す:	クエストしてい
۵	Google ドラ₁	づのファイルを	長示および管理でき	হৈর্ট 🛈
[許可] を シーに従 その他の	フリックすると、こ(ってあなたの情報 アカウント権限をI	カアブリと Google を利用することを語 いつでも変更できま	がそれぞれの利用規ジ F可することになります す。 拒否	ちとブライバシー ポリ 。このアカウント権限や 許可



バックアップと反対のプロセスをおこなうことを復元と言います。圧縮されたバックアッ プファイルを解凍し、復元することでバックアップイメージが作成された時の PC の状態に 戻します。PC を襲うウイルス感染、クラッシュ、パーティション損失、ファイル破損など の様々な悲劇にシンプルな方法で備えることができます。

システムの復元

まずシステムバックアップのタスクを選択し、「復元」ボタンをクリックします。

📀 EaseUS Todo Backup Trial							_	□ ×
🗹 ໑ҳ⊅	タスク			(復元	の バックアップ・	■ タスクを編集	⊡ 詳細	… その他 ▼
╋新しいタスク	タスク名	種類	状態		前回の結果	場所		
וש ≣	システムバックアップ	システムバックアップ	完了		完了	D:\My Ba	ckups\シス	テムバッ
「「」 ライヤンス	Local Disk (C)	ディスクパーティションバ	完了		完了	D:∖My Ba	ckups\Loc	al Disk
	スマートバックアップ	スマートバックアップ	ファイルを保護中。		完了	D:\My Ba	ckups\スマ	ートパッ
19 Y-11 V								
旦 クローン								
☑ イメージをチェック								

バックアップイメージを選択して内容を確認します。「実行」をクリックすると指定した復 元先で復元を行います。

復元			×
システムバックアップ 2016/09/06 13:44 完全バックアップ 🛛 🗸			
パックアップコンテンツ:	復元	先:	
III ニョディスク 0 Basic MBR (127.00 GB)	\rightarrow	ディスク 0 Basic MBR 127.00 GB 🛛 🗡	
🗹 🗋 *: NTFS システム 認証 基本(空き容量 65.82 MB / 100			
🗹 🛄 C: NTFS ブート 基本 (空き容量 100.00 GB / 126.90 GB)			
□ システム移行			

戻る 実行 キャンセル

注意:

システムの復元を実行する場合は元のシステムが上書きされてしまいますので、特にご注 意ください。エラーを起こした OS を復元する場合は WinPE ブータブルディスクあるいは Pre-OS が必要となります。

上級者向け復元設定

上級者向け設定を活用することで多くの場合、より安定的でスムーズにバックアップを復元できますが、これらの上級者向け設定を行わない場合でもシステムの完全な復元を行う ことができます。

システム移行: Windows を含むイメージを別の PC に移動します。詳細は別途解説します。
 SSD に最適化: ターゲットディスクに SSD を設定した場合にチェックを入れると適切なセク
 タ配列でシステムを復元します。

セクタバイセクタ復元:イメージファイルの内容をセクタごとに復元します。元のパーティションもしくはハードディスク上にあった微細なエラーさえ復元するかのように元の状態に忠実に復元します。

復元後、元のセクタにファイルを再配置する場合に使うこともできます。

ディスク/パーティションの復元

まずディスク/パーティションバックアップのタスクを選択し、「**復元」**ボタンをクリック します。

< EaseUS Todo Backup Trial									×
🗹 אָגַא	タスク			(復元	・ バックアップ・	して タスクを編集	E 詳細	… その他	1 -
╋新しいタスク	タスク名	種類	状態		前回の結果	場所			
≣ םט	システムバックアップ	システムバックアップ	完了		完了	D:\My Bac	:kups\シフ	テムバ	ツ
国 ライセンス	Local Disk (C)	ディスクパーティションバ	完了		完了	D:\My Bac	:kups\Lo	cal Disk	c
	スマートバックアップ	スマートバックアップ	ファイルを保護中。		完了	D:\My Bac	kups\ス¬	?トバ:	y
旦 クローン									
☑ イメージをチェック									
@、ブータブルディスクの作成									

バックアップイメージを選択して内容を確認します。「実行」をクリックすると指定した復 元先で復元を行います。

復元	□ ×
Local Disk (C) 2016/08/26 15:33 完全パックアップ 🛛 🗸	
パックアップコンテンツ:	復元先:
🗹 🗔 ディスク 0 Basic MBR (127.00 GB)	→ ディスク 0 Basic MBR 127.00 GB ∨ レイアウト
☑ 🛄 C: NTFS ブート 基本 (空き容量 102.05 GB / 126.90 GB)	

🔲 システム移行

注意:

ディスク/パーティション復元を行う場合、ターゲットディスク上のデータは上書きされて いまいます。適切な復元対象ディスクが選択されていることを確認してから作業してくだ さい。

戻る

実行

キャンセル

上級者向け復元設定

上級者向け設定を活用することで多くの場合、より安定的でスムーズにバックアップを復 元できますが、これらの上級者向け設定を行わない場合でもシステムの完全な復元を行う ことができます。

システム移行: Windows を含むイメージを別の PC に移動します。詳細は別途解説します。
 SSD に最適化: ターゲットディスクに SSD を設定した場合にチェックを入れると適切なセク
 タ配列でシステムを復元します。

セクタバイセクタ復元:イメージファイルの内容をセクタごとに復元します。元のパーティションもしくはハードディスク上にあった微細なエラーさえ復元するかのように元の状態に忠実に復元します。

復元後、元のセクタにファイルを再配置する場合に使うこともできます。

復元後のパーティションサイズを決定する

ターゲットディスクとソースディスクの容量がそれぞれ異なる場合、EaseUS Todo Backup は復元開始前にパーティションのサイズを自動調整します。また、手動で調整することも 可能です。

復元		×
Local Disk (C) 2016/08/26 15:33 完全バックアップ V		
パックアップコンテンツ: 復元先:		
Z □ ディスク 0 Basic MBR (127.00 GB) ディスク 0 Basic MBR 127.00 GB	イアウト	
■ □ C: NTFS ブート 基本 (空き容量 102.05 GB / 126.90 GB)		
ディスクレイアウト	>	<
リカバリ後のレイアウト		
C: (NIFS) 126.90 GB		
□ セクタバイセクタ復元 □ SSDに最適化		
OK +v	ッセル	

- 1. 復元先ディスクを選択して「編集」ボタンをクリックします。
- ディスク構造が表示されたら、パーティションをスライドして復元後のサイズを決定し、
 「実行」をクリックして復元します。

ダイナミックボリュームの復元

ダイナミックボリュームの復元手順はパーティションの復元とほぼ同様です。

なお、ダイナミックボリュームに OS がインストールされている場合、ベーシックディスク に復元された際にプライマリパーティションになります。OS がインストールされていない 場合は、論理パーティションになります。

ファイルの復元

まずファイルバックアップのタスクを選択し、「復元」ボタンをクリックします。

< EaseUS Todo Backup Trial							_	□ ×
עגע 🗹	タスク			へ 復元	্ /গ্রু৫৮৬৩ •	に タスクを編集	C· 詳細	… その他 ▼
➡新しいタスク	タスク名	種類	状態		前回の結果	場所		
₪ דם	ファイルバックアップ	ファイルバックアップ	完了		完了	D:\My Ba	ckups\ファ	ฯ/11/พีพ
ロ ライヤンス	システムバックアップ	システムバックアップ	完了		完了	D:\My Ba	ckups\沙기	ステムバッ
	Local Disk (C)	ディスクパーティションバ	完了		完了	D:\My Ba	ckups\Lo	cal Disk
& ツール ·	スマートバックアップ	スマートバックアップ	ファイルを保護中。		完了	D:\My Ba	ckups\スㅋ	マートバッ
旦 クローン								
☑ イメージをチェック								
@、ブータブルディスクの作成								

バックアップイメージを選択して内容を確認します。「実行」をクリックすると指定した復 元先で復元を行います。

復元						×
ファイルバックアップ 2016/09/06 1	4:13 完全バックアップ 🛛 🗸					
バックアップコンテンツ:						Q
▷ 🗹 🦾 C:	□ 名前	容量	空き容量			
○ 復元先:				~	参照…	
 元の場所に復元 						
□ 既存のファイルに上書き						
			戻る	実行	キャンセ	lb

検索ボックスから、復元したいイメージを検索して指定することができます。

元の場所に復元:ファイルやフォルダを元の位置に復元します。

既存のファイルに上書き:有効にした場合、元のファイルとフォルダは復元後に上書きさ れます。

スマートバックアップの復元

まずスマートバックアップのタスクを選択し、「復元」ボタンをクリックします。

📀 EaseUS Todo Backup Trial					▣ _	□ ×
עגע 🗹	タスク			 ○ ○ (復元) ○ ○ ● ●<	と に な な な た を 編集 詳細	 その他 ▼
╋新しいタスク	タスク名	種類	状態	前回の結果	場所	
פֿת ≣	ファイルバックアップ	ファイルバックアップ	完了	完了	D:\My Backups\ファ-	า.ม.กี่ง
向 ライヤック	システムバックアップ	システムバックアップ	完了	完了	D:\My Backups\シス	テムパッ
	Local Disk (C)	ディスク/パーティションバ	完了	完了	D:\My Backups\Loo	al Disk
<i>ゆ</i> ツール ~	スマートバックアップ	スマートバックアップ	ファイルを保護中。	完了	D:\My Backups\ス국	! ートバッ
旦 クローン						
☑ イメージをチェック						
@ ブータブルディスクの作成						

バックアップイメージを選択して内容を確認します。「実行」をクリックすると指定した復 元先で復元を行います。

復元						×
スマ <i>ー</i> トパックアップ 2016/08/26 1	18:15 増分バックアップ 🛛 🗸					
バックアップコンテンツ:						Q
▷ 🗹 🛄 C:	□ 名前	容量	空き容量			
○ 復元先:				\sim	参照.	
◎ 元の場所に復元						
□ 既存のファイルに上書き						
			戻る	実行	キャンセ	յե

スマートバックアップの復元は「ファイルの復元」と同じです。

メールの復元

まずスマートバックアップのタスクを選択し、「復元」ボタンをクリックします。

バックアップイメージを選択して内容を確認します。「実行」をクリックすると指定した復 元先で復元を行います。

注意:

既存のメールおよび連絡先は復元によって上書きされません。バックアップイメージから の不足分を補完する形になります。

参照して復元

EaseUS Todo Backup を再インストールしたり、WinPE ブータブルディスクを使用してシス テムを復元したりした場合、それまで作成したバックアップが失われてしまい、メイン画 面にもバックアップが表示されなくなってしまうことがあります。そのような場合に「参 照して復元」を利用します。

< EaseUS Todo Backup Trial		□ _ □ ×
🗹 タスク	<u>አ</u> ረሳ	☑ ↓ 新しいゆスク 復元 システム移行
 しのが 度元するタスクを選択 直うイセンパックアップタスク 	参照して復元 ▶ 〒 ライブラリ ▶ 目 ドキュメント ▶ 四 た気に入れ	× ロ × 作所 D:\My Backups\ファイルパッ D:\My Backups\システムパッ D:\My Backups\とocal Disk
シッ- ファイル//シウアップ シュ シュテム/シックアップ システム/シックアップ レocal Disk (C) スマート/シックアップ マッ アン アン アン アン アン	C:) C:) C:: C:: C:: C:: C:: SRecycle.Bin C:: S3d4005863c4e8ac5ded6500a03f1 C:: S55c89beee1fca8e1d9963e38281 D:: BOOT C:: C:: C:: C:: D:: D::	\ファイJW/\$ックアップ システムJ\$ックアップ \Local Disk (C) スマートブ\$ックアップ
□ P2V □ テー: □ フロ 試用期 ラー:	 ▷ Documents and Settings ▷ @ e1893fbe6867be155257 ▷ @ e8d44140a5e01e430a ファイル名: ファイルの種類: *.pbd 	キャンセル ハ キャンセル

Windows のフォルダツリーからイメージを参照して復元に使用できます。

個別ファイルの復元

EaseUS イメージファイルに直接アクセスすることができます。PBD ファイルをダブルクリ ックもしくは右クリックで展開してください。ターゲットファイルを確認し、右クリック してメニューを開いたり、コピーしたり、復元したりすることができます。

理 ▼		🙂 File Shredder 📲	• 🗔
Drivers easeus_tb_cloud	Dell ファイル フォルダー	Links ファイル フォルダー	
Jintel	Links for 日本	desktop.ini	
MSOCache	第4(0) 新しいウィー・	ンドウで問く(F)	
Javorites	マン ValueDoor 行 ValueDo	プ元と同じ場所に復元(R)	
🍌 システムバックアップ		定する(S)	
→ スマートバックアップ	コピー(C)		
C:			
🔒 Users			
Favorites			

システム移行

通常、ハードウエアの動作にはドライバーが必要であり、現在使用している PC のシステム を構成の異なる PC にそのまま移動することはできませんし、ドライバーなしでハードウエ アを動作させることもできません。

EaseUS Todo Backup の「システム移行」を使用すれば、次のような場合によく発生するトラブルを容易に解決することができます。

- 1. 新しく高性能な PC にシステムを移動する場合。
- 2. ハードウエア更新後に古いシステムを復元、継続使用する場合。

<u>注意</u>:

本機能は Workstation 版以上のみでご利用いただけます。

🔶 EaseUS Todo Backup Trial					
 タスク 	タスク			新し	
╋新しいタスク	タスク名	種類	状態	前回の結果	場所
目 ログ	ファイルバックアップ	ファイルバックアップ	完了	完了	D:\My Backups\ファイルパッ
山 ライヤンス	システムバックアップ	システムバックアップ	完了	完了	D:\My Backups\システムパッ
	Local Disk (C)	ディスクパパーティションバ	完了	完了	D:\My Backups\Local Disk
19ツール ~	スマートバックアップ	スマートバックアップ	ファイルを保護中。	完了	D:\My Backups\スマートパッ
旦 クローン					
☑ イメージをチェック					
@ ブータブルディスクの作成					

準備

以下のものをご準備ください。

1. 「**システムバックアップ」**または「ディスク/ボリュームバックアップ」で作成した有効なイメージファイル。

2. 転送先マシンに接続もしくは挿入できる「WinPE ブータブルディスク」または「WinPE ブータブル USB」

3. 転送先マシン上に新しいハードウエア用の inf ドライバーファイル。

注意:

ディスク上に十分な領域が確保できる場合、WinPE ブータブルディスク上にシステムのイ メージファイルや inf ドライバーファイルを保存することもできます。

手順

1. WinPE ブータブルディスクから転送先マシンを起動し、システムのイメージファイルが 保存されているドライブが転送先マシンに接続されていることを確認します。

2. メイン画面内の「システム移行」をクリックします。

3. システムのイメージファイルを参照して選択します。

システム移行	参照して復元 ×	_
復元するタスクを選択 パックアップタスク システムパックアップ Local Disk (C)	 ▶ □ ライブラリ ▶ □ ドキュメント ▶ □ お気に入り ■ このPC ● □ CoPC ● □ Users ▶ □ Users ▶ □ 3d4005863c4e8ac5ded6500a03f1 ▶ □ 3d4005863c4e8ac5ded6500a03f1 ▶ □ 555c89beee1fca8e1d9963e38281 ▶ □ BOOT ▶ □ Documents and Settings ▶ □ e1893fbe6867be155257 ▶ □ e8d44140a5e01c430a ファイル名: □ アイル和: 	参照 システムパックアップ \Local Disk (C)

- 4. 復元先ドライブを選択します。
- 5. 復元が完了したらシステムが移転されたことを確認します。

システム移行		×
システムパックアップ 2016/09/06 13:44 完全パックアップ 🛛 🗸		
バックアップコンテンツ: 復元先:		
▼ □ ディスク 0 Basic MBR (127.00 GB) → ディスク 0 Basic MBR 127.00 GB ×		
☑ 🗔 *: NTFS システム 認証 基本 (空き容量 65.82 MB / 100		
☑ 🗋 C: NTFS ブート 基本 (空き容量 100.00 GB / 126.90 GB)		
	مل در الم	
	1770	.JV

注意:

RAID SCSI ドライブなど一部のドライブは WinPE 環境下ではデフォルト表示されません。また、ドライブを使用するには適切なドライバーが必要です。詳細は<u>こちら</u>をご参照ください。(英語)

6. システムの復元完了後、特定のハードウエアのドライバー(.inf ファイル)を要求する ウィンドウが起動する場合があります。 リスト表示されるハードウエア情報の中から適切 なドライバーを探して追加すればシステム移行完了後に利用できるようになります。

クローン

ドライブの不具合や容量不足のため、Windows を収録したハードドライブを交換する場合、 「クローン」機能を使って容易にディスクのクローンを作成することができます。

ディスククローン

OS やプログラムを含む全てのデータを別のディスクにクローンします。ハードディスクを 新しいものに交換する場合に特に便利な機能です。クローン先のディスクは元のディスク より容量の大きなものを使用してください。

手順

1. ツールから「クローン」をクリックします。

📀 EaseUS Todo Backup Trial					e _ e ×
ダスク	タスク			新し	☑ ○ 望 いなスク 復元 システム移行
╋新しいタスク	タスク名	種类則	状態	前回の結果	場所
₪ דעם	ファイルバックアップ	ファイルバックアップ	完了	完了	D:\My Backups\ファイルパッ
▲ ライヤンス	システムバックアップ	システムバックアップ	完了	完了	D:\My Backups\システムパッ
<i>a</i>	Local Disk (C)	ディスクパーティションバ	完了	完了	D:\My Backups\Local Disk
<i>19</i>	スマートバックアップ	スマートバックアップ	ファイルを保護中。	完了	D:\My Backups\スマートバッ
 □ クローン □ イメージをチェック 					
③ ブータブルディスクの作成					

2. ソースとなるディスクを選択し、ターゲットとなるディスクを選択して「**実行」**をクリ <u>ックします。</u>

j	"イスク/パーティションクローン					×	
ź	.	先:					
	🚽 🛄 ディスク 0 Basic MBR (127.00 GB)	\rightarrow	ディスク 1 Basic MBR 127.00 GB	\sim	レイアウ	Þ	
	🗹 🗔 *: NTFS システム 認証 基本 (空き容量 65.85 MB / 100						
	☑ 🛄 C: NTFS ブート 基本 (空き容量 100.00 GB / 126.90 GB)						
[ディスク 1 Basic MBR (127.00 GB)						
	🗌 🛄 D: NTFS 基本 (空き容量 115.04 GB / 127.00 GB)						

実行	キャンセル

ヒント:

「レイアウト」をクリックすると「リカバリー後のレイアウト」が表示されます。パーティションをスライドしてクローン後のサイズを調整できます。

ディスク/パーティションクローン				×
元:	先:			
🗹 🗔 ディスク 0 Basic MBR (127.00 GB)	\rightarrow	ディスク 1 Basic MBR 127.00 GB	~ レイアウ	Þ
🗹 🛄 *: NTFS システム 認証 基本 (空き容量 65.85 MB / 100				
☑ 🛄 C: NTFS ブート 基本 (空き容量 100.00 GB / 126.90 GB)				
🗌 🛁 ディスク 1 Basic MBR (127.00 GB)				
🗌 🗔 D: NTFS 基本 (空き容量 115.04 GB / 127.00 GB)				
ディスクレイアウト			:	×
クローン後のレイアウト: (ディスク 1 Basic MBR 127.00 GB)				
B: (NTF5) 126.90 GB				
│ │ □ セクタバイセクタクローン │ SSDに最適化				
		ОК	キャンセル	

4. 「OK」をクリックしてディスククローンを開始します。

上級者向けクローン設定

上級者向け設定を活用することで、より安定的でスムーズにクローンを作成できる場合が ありますが、これらの上級者向け設定を行わない場合でもシステムの完全なクローンを行 うことができます。

SSD に最適化: ターゲットディスクに SSD を設定した場合にチェックを入れると適切なセク タ配列でシステムを復元します。

セクタバイセクタクローン: ソースディスク/パーティションと全く同じ内容のターゲット ディスク/パーティションを作成します。空のセクタも含めてクローンするため、全く同じ サイズのクローンが作成されます。ディスククローンやパーティションクローンでセクタ バイセクタクローンを選択した場合も同一の手順で作成されます。

注意:

セクタバイセクタモードでクローンしたディスクやパーティションはサイズを調整することができません。

パーティションクローン

バックアップ操作は大変便利でシステマチックな作業ですが、クローン作製もシンプルで 直感的な作業でパーティションのコピーを作成します。

手順

1. ソースとなるディスクを選択し、ターゲットとなるディスクを選択して「**実行」**をクリックします。

ディスクパーティションクローン					×	
元:	先:					
🗹 🗔 ディスク 0 Basic MBR (127.00 GB)	\rightarrow	ディスク 1 Basic MBR 127.00 GB	\sim	レイアウ	٢	
🗹 🗔 *: NTFS システム 認証 基本 (空き容量 65.85 MB / 100						
☑ 🗋 C: NTFS ブート 基本 (空き容量 100.00 GB / 126.90 GB)						
🗌 🚍 ディスク 1 Basic MBR (127.00 GB)						
🗌 🗋 D: NTFS 基本 (空き容量 115.04 GB / 127.00 GB)						

実行 キャンセル

ヒント:

「レイアウト」をクリックすると「リカバリー後のレイアウト」が表示されます。パーティションをスライドしてクローン後のサイズを調整できます。

ディスクパパーティションクローン					×
元:	先:				
🗹 🗔 ディスク 0 Basic MBR (127.00 GB)	→	ディスク 1 Basic MBR 127.00 GB	\sim	レイアウ	ト
🗹 🗔 *: NTFS システム 認証 基本 (空き容量 65.85 MB / 100					
☑ 🗋 C: NTFS ブート 基本 (空き容量 100.00 GB / 126.90 GB)					
🗌 🚍 ディスク 1 Basic MBR (127.00 GB)					
🗌 🛄 D: NTFS 基本 (空き容量 115.04 GB / 127.00 GB)					
ディスクレイアウト					×
クローン後のレイアウト: (ディスク 1 Basic MBR 127.00 GB)					
B: (NTFS) 126.90 GB					

セクタバイセクタクローン
 SSDに最適化

ダイナミックディスク/ボリュームのクローン

EaseUS Todo Backup の「クローン」機能を利用すれば、ダイナミックディスクやダイナミ ックボリュームのクローンを作成することができます。異なるディスク上に設定されたダ イナミックボリュームでも、同じダイナミックディスク上にリスト表示されます。

ОК

キャンセル

上級者向けサーバーツール

E-mail 管理に MS Exchange、関連データのクエリや更新には MS SQL と言った具合にサーバ 一管理者には様々なツールを操作することが要求されています。ここで扱われるデータは 業務上重要なものです。サーバー管理者はデータのセキュリティ、完全性などに責任を負 うことが求められています。データを定期的にバックアップすることは、予期せぬ不具合 からデータを守ることができるほか、データの状態を維持すると言う点でも非常に有効で す。

EaseUS Todo Backup の「Advanced Server 」および「Technician 」を使用すれば、Exchange サーバー、 MS SQL サーバーおよびイメージアーカイブをテープにバックアップすること ができます。

Exchange のバックアップ

Exchange サーバーは Microsoft Exchange がインストールされた物理/仮想サーバーで、マ イクロソフト製のサーバー向け製品です。電子メール、カレンダー、連絡先およびタスク をつかさどります。モバイルおよびウェブからの情報アクセスに対応しているほか、デー タ保存にも対応しています。最新の EaseUS Todo Backup を使用すれば、ストレージグルー プと個別メールフォルダをバックアップユニットとして選択することができます。

EaseUS Todo Backup は以下のバージョンに対応しています。 Exchange 2003, 2007, 2010 and 2013

バックアップの開始

バックアップ前に Exchange サーバーがマウントされていることをご確認ください。 「その他のバックアップ」>「Exchange のバックアップ」をクリックして開始します。

1. タスク/プラン名と詳細を指定します。

2. バックアップソースを選択します。以下の2種類から選択できます。

ストレージグループモード メールボックスモード

3. イメージファイルの保存先を指定します。ローカルディスク、ネットワークフォルダも しくはテープドライブのいずれかを選択します。下向き矢印をクリックして履歴を確認し ます。

4. 「実行」をクリックして設定を終了します。スケジュールを設定していない場合、すぐ にバックアップが実行されます。

復元の開始

Exchange のバックアップと反対の手順でおこないます。Exchange のストレージグループも しくはメールフォルダを復元します。

1. Exchange のバックアッププランを選択して復元をクリックします。

2. Exchange イメージの履歴から復元に使用するものを選択します。

3. 復元するストレージグループ/メールボックスを指定します。必ずしも全てを選択する必要はありません。複数のストレージグループを含むイメージファイルの任意の一つに記録されたストレージファイルの復元と言った部分的な復元もできます。

4. 現在の復元に関する詳細を確認し、「実行」をクリックします。 EaseUS Todo Backup はストレージグループを元の位置に自動で復元します。復元先を指定 する必要はありません。

注意:

メールボックス復元時でも既存のメールが上書きされることはありません。

SQLバックアップ

SQL とは Structured Query Language の頭文字をとったもので、関係データベース管理シス テムにおけるデータ管理のために設計されています。Microsoft SQL Server の主な機能に はデータの挿入、クエリの更新/削除、スキーマの作成/変更およびデータコントロールの アクセスなどが挙げられます。本製品は MS SQL 2000/2005/2008 に対応しています。 MS SQL のバックアップファイルの拡張子は「.bak」です。

ログイン

メニューから「その他のバックアップ」>「SQL バックアップ」をクリックします。認証画 面が起動しますので、Windows 管理者もしくは SQL サーバーアカウントを入力して認証しま す。認証の際にはログインするインスタンスを選択してください。

ホーム

認証後、データベースリスト、バックアップタスクリストおよび利用可能なオプションを 表示した SQL バックアップのホーム画面が表示されます。

プログラム左画面に全てのデータベースが表示されます。その中から作業をおこなうデー タベースを1個または複数個選択します。画面左下の「切断」ボタンをクリックするとイ ンスタンスへの接続が切断されログイン画面に戻ります。「再読み込み」をクリックすると インスタンス内の変更内容を反映します。

バックアップ

通常のデータや Exchange のデータをバックアップする場合とは異なり、バックアップページ内の関連する全てのパラメーターを1ステップで設定し、SQL データベースをバックアップすることができます。

基本情報

タスク名: 現在のタスク名を入力します。 **ターゲット**: イメージファイルの保存先を指定します。 **エラー時に続ける**:メディアのエラーを無視するか否か選択します。

プラン

ここで扱う全てのオプションは「スケジュール」を有効にすると利用可能になります。「ス ケジュール」を有効にすると、毎日、毎週、毎月から実行間隔を設定し、使用するプラン を選択できるようになります。

完全: 全てのデータベースとトランザクションログをバックアップします。 差分: 前回の完全バックアップ以降に変更されたファイルのみバックアップします。 トランザクションログも含まれます。 トランザクションログ: トランザクションログのみバックアップします。

オプション

圧縮:バックアップイメージを圧縮するかしないか選択します。(MS SQL Server 2008 Enterprise 以上のバージョンで有効)

通知:バックアップ結果をメールで通知するかしないか選択します。詳細は別項を参照 してください。

復元モード

復元モードを設定します。

シンプル: ログのバックアップはおこないません。ログを自動消去して必要な領域を 節約し、トランザクションログの保存領域の管理をおこなう必要がなくなります。デー タベースをシンプルモードにすることで、ログをバックアップする必要がなくなり、完 全バックアップのファイルを利用して復元することになります。

完全:ログのバックアップが必要です。全てのログがバックアップされるので個々のト ランザクションを復元することができます。

バルクログ: ログのバックアップが必要です。パフォーマンスの高い大量コピーが可能となり、最低限の記録をおこなうためにログ領域を節約できます。

復元

MS SQL イメージファイルの復元方法について説明します。

- 1. 復元ページを表示します。
- 2. データベースを選択し、復元するイメージを指定します。

3. 「復元モードの選択」で復元先のデータベース名と位置を指定し、既存のデータベース に上書き、もしくは新しいデータベースに復元するか選択します。

「エラーでも続ける」を選択した場合は全てのエラーをスキップします。

4. 「実行」をクリックします。

エクスポート/インポート

エクスポート

データベースを MDF ファイルもしくは LDF ファイルのいずれかでエクスポートします。手順の詳細は次の通りです。

1. プログラム画面左のデータベースリストからエクスポートするデータベースを選択します。

2. MDF もしくは LDF ファイルの保存先を指定します。

3. 「実行」をクリックします。

インポート

「参照」をクリックして MDF ファイルをインポートします。データベースの操作記録が不要な場合はログファイルの裏にある「参照」は無視して構いません。

MDF ファイルのインポート時に既存のデータベースを上書き、もしくは新しいデータベース を作成から選択することができます。

ログ

全ての操作はログファイルに記録されており、完了したタスクや完了日時等を確認できま す。

ヒント:

「クリア」ボタンは十分注意してクリックしてください。ログファイル内の全ての情報 が消去されます。

ツール

「ツール」メニュー内には、バックアップの効率化とフレキシビリティの向上に役立つ便 利なオプションがあります。



イメージをチェック

イメージのチェックを使用してイメージファイルの有効性を確認できます。チェック中に エラーが確認された場合、そのイメージは破損しており、復元に使用できない場合があり ます。

「イメージをチェック」をクリックし、チェックするイメージファイルを選択、あるいは プログラム画面右上にある「参照」をクリックすれば、単一のイメージファイルをチェッ クすることができます。

イメージをチェック			×
タスクを選択してイメージをチ	לעד		参照
バックアップタスク	バックアップタイプ	作成日時	場所
ファイルバックアップ	ファイルルベックアップ	2016-09-06 14:13	D:\My Backups\ファイル/ 、ックアップ
システムバックアップ	システムバックアップ	2016-09-06 13:43	D:\My Backups\システムパックアップ
Local Disk (C)	ディスクパペーティションバックア	2016-08-26 15:33	D:\My Backups\Local Disk (C)
スマートバックアップ	スマートバックアップ	2016-08-26 14:45	D:\My Backups\スマートバックアップ

🔽 完全チェック 👔

実行 キャンセル

注意:

バックアッププランに含まれる全てのイメージがチェックされます。従って多数のイメージがあるバックアッププランのチェックには時間がかかります。

ブータブルディスクの作成

EaseUS Todo Backup を使用してブータブル USB ディスク、CD あるいは DVD を作成すること ができます。これらは Windows が起動で着なくなった場合に使用します。

ブータブルディスクの作成方法

1. 「ツール」>「ブータブルディスクの作成」をクリックします。

2. 次に、WinPE ブータブルディスクもしくは Linux ブータブルディスクのいずれかから作 成するブータブルディスクの種類を選択します。 ブータブルディスクの種類:

💿 WinPEブータブルディスクの作成

○ Linuxブータブルディスクの作成

USB CD/DVD ISO

エクスポート先: C:\Users\User\Desktop\Emergencydisk.iso

参照<mark>…</mark>

×

ブータブルディスクを作成できない場合、サードパーティソフトウェアを使用し、Emergencydisk.isoを作成してください。



「対応モード」にチェックを入れると、現在の PC から必要なドライバーを取得し、WinPE ブータブルディスクに記録します。作成したブータブルディスクを使用してシステムを起 動できない場合、「対応モード」にチェックを入れてディスクを再作成してください。 3. USB ディスクを使用してブータブル USB ディスクを作成する場合や CD/DVD を使用してブ

ータブル CD/DVD を作成する場合は、該当する作成方法を選択して「実行」をクリックします。

注意:

WinPE ブータブルディスクとLinux ブータブルディスクに関する詳細は<u>こちら</u>を参照してく ださい。(英語)

WinPE ブータブルディスクに関する情報(英語): WinPE 環境下でドライブが表示されない WinPE 環境下でネットワークに接続できない

テープ管理

データの長期保存のためにテープ媒体を使用している場合、ラベルを見ないと内容を把握 することができません。テープ管理機能を利用すればテープに記録されたイメージを管理 することができるようになります。

この機能を使ってテープに収録されたイメージをローカルドライブに「**コピー」**、テープを 「**取り出し」**、データを「**消去」**といった操作ができます。

Pre-OS を有効/無効にする

Pre-OS は、予期せぬ不具合でシステムが起動できなくなった場合に WinPE ブータブルディ スクの代わりに使用することができます。

Pre-OSの有効/無効の切替をおこないます。

ボタンの表示は Pre-OS の現在の状態に依存します。Pre-OS が有効になっている場合、ボタンの表示は Pre-OS を無効化となります。

Pre-OS が有効化されると PC 起動時に EaseUS ブートメニューが立ち上がります。選択後に Windows へのログイン画面ではなく、EaseUS Todo Backup に入ることができます。

EaseUS Todo Backup のエディションによって2種類の Pre-OS 環境があります。

Linux Pre-OS

全てのLinux ベースのトライアル版向けで、「復元」と「クローン」の2種類の基本的なオ プションのみ選択可能です。

Windows Pre-OS

WinPE ブータブルディスク作成後、Linux Pre-OS は Windows Pre-OS に変換されます。ほぼ 全ての機能が使用できるようになります。

ISCSI イニシエーター

iSCSI デバイスを接続、構成します。

2種類の接続モードがあります。

クイック接続

「ターゲット」タブの「クイック接続」テキストボックス内にターゲットデバイスの名称 または IP アドレスを入力します。続いて「クイック接続」をクリックします。

アドバンスト接続

1. 「ディスカバリー」タブをクリックします。

2. 「ポータルを検索」をクリックしてターゲットポータルを追加します。「IP アドレス」 または「名前」を入力して接続します。

接続が確立されると iSCSI ドライブをローカルのハードドライブのようにバックアッ プしたり復元したりすることができます。

PXE を有効/無効にする

PrebooteXecution環境ではネットワークインターフェイス付のPCをデータ保存デバイスから独立して起動することができます。

EaseUS Todo Backup PXE サーバーを使用すれば、ネットワーク起動付きのターゲットマシン上で EaseUS Pre-OS 環境を立ち上げることが可能です。本機能はベアメタル回復やネットワーク構築の際に使用します。

次のエディションでご利用いただけます。 EaseUS Todo Backup Server EaseUS Todo Backup Advanced Server EaseUS Todo Backup Technician

「ツール」内の「PXE を有効化」をクリックして本機能を有効化します。ブートイメージフ オルダが自動構成されます。

PXE ブートに対応したクライアントマシンのネットワークインターフェイスカードを確認 します。BIOS 設定の「Network boot」を選択してください。PXE サーバーへの接続が確立 されると、クライアントマシンをネットワーク経由で起動できるようになります。

	Boot Menu
1. 2. 3. 4.	+Removable Devices CD-ROM Drive +Hard Drive Network boot from Intel E1000
	<enter setup=""></enter>

PhoenixBIOS Setup Utility						
Ma	in Adva	inced Seci	ırity	Boot	Exit	
	+Removable CD-ROM Dri	Devices ve				Item Specific Help
	+Hard Drive Network bo	ot from Intel	E1000			Keys used to view or configure devices: <enter> expands or collapses devices with a + or - <ctrl+enter> expands all <+> and <-> moves the device up or down. <n> May move removable device between Hard Disk or Removable Disk <d> Remove a device that is not installed.</d></n></ctrl+enter></enter>
F1 Esc	Help ↑↓ Exit ↔	Select Item Select Menu	-/+ Enter	Change Select	Values ► Sub-Me	F9 Setup Defaults enu F10 Save and Exit

注意:

ネットワーク上に有効な DHCP (Dynamic Host Control Protocol)があることを確認し てください。起動中のコンピューターが IP アドレスを自動取得し、EaseUS Todo Backup PXE 環境下に起動することができます。

P2V コピー

EaseUS Todo Backup では、物理マシンから仮想マシンに容易かつ効率的にドライブを移動できる P2V ツールをお使い頂けます。

起動中のシステムを仮想環境に変換する場合は、「ツール」>「P2V コピー」をクリックしてください。バックアップや復元をおこなうことなく仮想マシンを作成することができます。

P2V⊐ピー

🗹 🛄 ディスク 0 Basic MBR (127.00 GB)		
🔽 🛄 *: NTFS システム 認証 基本 (空き容量 65.85 MB / 100.00 MB))	
🗹 🛄 C: NTFS ブート 基本 (空き容量 100.00 GB / 126.90 GB)		
🗆 🖵 ディスク 1 Basic MBR (127.00 GB)		
🗆 🛄 D: NTFS 基本 (空き容量 115.04 GB / 127.00 GB)		
ターゲット:		
D:\My Backups	空き容量 115.04 GB / 127.00 GB	✓ 参照
仮想マシン名:		
Windows_7_x64		
パラメーター		
▲ VMware Workstation × ▲ VMware Workstation 7.0 ×	🙋 ハードウェア構成	
	実行	キャンセル

×

1. 変換するディスク/パーティションを選択します。システムパーティションおよびブー トパーティションが初期設定されており、これらは選択解除することができません。これ ら以外に変換するパーティション/ディスクを追加します。

 ターゲットとなる仮想マシンを指定します。ローカルディスクとネットワークフォルダ を保存先に設定することができます。下向き矢印をクリックすると履歴から選択できます。
 仮想マシンのパラメーターを構成します。

仮想マシン名

仮想マシンの名前を編集します。OS の名称が初期設定されています。

仮想ソフトの開発元

仮想マシンの変換後の種類を指定します。VMWare Workstation および MS Virtual PC に対応しています。

バージョン

変換された仮想マシンで仮想ソフトウエアを正しく動作するため、適切なバージョンを選 択します。

仮想マシンの編集

仮想マシンのプロセッサーやコア数、メモリー容量、ハードディスクの種類や容量などの 設定を編集します。

P2V 復元

P2V 復元を利用すれば EaseUS ディスク/バックアップイメージを仮想マシン上に復元することができます。「ツール」>「P2V 復元」をクリックしてください。

P2V復元			×
復元するタスクを選択			参照
バックアップタスク	バックアップタイプ	作成日時	場所
システムバックアップ	システムバックアップ	2016-09-06 13:43	D:\My Backups\システムパックアップ
Local Disk (C)	ディスクパペーティションバックア	2016-08-26 15:33	D:\My Backups\Local Disk (C)

1. 復元するバックアッププランを選択します。システムバックアップもしくはシステムを 含んだディスク/ボリュームバックアップを指定してください。リスト内にバックアップが ない場合は「参照」をクリックして手動入力してください。

 ターゲットとなる仮想マシンを指定します。ローカルディスクとネットワークフォル ダを復元先に設定することができます。下向き矢印をクリックすると履歴から選択できます。
 仮想マシンのパラメーターを構成します。

P2V の変換

簡単な作業で作成した EaseUS ディスク/パーティションイメージを仮想ディスクに変換することができます。「ツール」>「P2V の変換」をクリックしてください。

P2Vの変換		×
システムバックアップ 2016/09/06 13:44 完全バックアップ 🛛 🗸		
🗹 🛄 ディスク 0 Basic MBR (127.00 GB)		
🗋 *: NTFS システム 認証 基本 (空き容量 65.82 MB / 100.00 MB)		
🗋 C: NTFSブー 基本 (空き容量 100.00 GB / 126.90 GB)		
D:\My Backups	空き容量 115.04 GB / 127.00 GB 🛛 🗸	参照
仮想マシン名:		
システムバックアップ		
パラメーター		
▲ VMware Workstation ~		
		キャンセル

1. 復元するバックアッププランを選択します。システムバックアップもしくはシステムを 含んだディスク/ボリュームバックアップを指定してください。リスト内にバックアップが ない場合は「参照」をクリックして手動入力してください。

2. 変換するパーティションもしくはハードディスクを選択します。

 仮想ディスクの保存先を指定します。ローカルディスクとネットワークフォルダを復元 先に設定することができます。下向き矢印をクリックすると履歴から選択できます。
 仮想ディスクのパラメーターを構成します。

仮想ディスク名:仮想ディスクの名前を指定します。 **仮想ソフトウエアの開発元:**.vmdk もしくは .vhd を作成する VMware あるいは仮想 PC を指 定します。

マウント/アンマウント

マウント機能を使ってディスク/パーティションイメージもしくはシステムイメージ (*.PBD file)内のファイルやフォルダを参照/確認することができます。全てのイメージ を復元することなくマウントされたドライブから必要なファイルを直接コピーすることが できます。

本機能を使用して作成したイメージの有効性を確認することもできます。

700000000000000000000000000000000000000			×
バックアップタスク マウントされ	ルたデバイス		参照
バックアップタスク	バックアップタイプ	作成日時	場所
システムバックアップ	システムバックアップ	2016-09-06 13:43	D:\My Backups\システムバックアップ
Local Disk (C)	ディスクパパーティションバックア	2016-08-26 15:33	D:\My Backups\Local Disk (C)

次へ キャンセル

1. 「ツール」>「マウント/アンマウント」を選択すると、利用できるバックアップが一覧表示されます。

2. 使用するバックアップを選択し、「次へ」をクリックします。

3. 「ソース」を選択し、「次へ」をクリックしてマウントを実行します。

イメージをアンマウントする場合は「マウントされたディスクの管理」をクリックします。

ヒント:

本機能は「ディスク/ボリュームバックアップ」と「システムバックアップ」にのみ対応しています。

暗号化されたアーカイブをマウントする場合はパスワードを入力してください。

完全なアクセス権を維持するため、イメージの作成とそのマウントは同一の Windows ア カウント内で実行してください。

マウントされたドライブはコンピューター再起動後に自動消去されます。

WinPE の特別ツール

WinPE と Pre-OS 環境ではスムーズに復元をおこなえるようにするため、「ツール」内のオプションのいくつかが新しいものと入れ替わります。

Windows シェル

MS-DOS コマンドボックスを起動して異なるコマンドを入力してバックアップの効率や安全 性を向上させることができます。例えば、パーティションのバックアップ前に CHKDSK でエ ラーチェック、Drvload でハードウエアを追加、DISKPART でパーティションの作成といっ た操作ができます。

Windows のコマンドに関する知見のある方向けの機能です。

ドライバーマネージャー

WinPE および Pre-OS 内にインストールされたドライバーがないと認識されない RAID、SCSI およびネットワークカードがあります。このオプションを使用すればそのようなハードウ エア向けにドライバーを追加でき、スムーズに復元作業をおこなえます。

ネットワークマネージャー

ネットワークアクセスパラメータの管理もしくは設定の際に共有フォルダの読み込みに失 敗した場合に使用するオプションです。

ネットワークドライブのマップ: バックアップあるいは復元するドライブをローカルドラ イブとしてマップします。 ネットワークドライブの編集:マップされたドライブのパラメーターを変更します。 ネットワークドライブの切断:「ネットワークドライブのマップ」で作成したマップされた ドライブを消去します。 IP 設定: IP パラメーターを構成します。

MBR の修理

「MBR の修理」を使用して MBR セクタに新しいボート情報を記入することでブート時の問題 を解決できる場合があります

WinPE Pre-OS または WinPE ブータブル環境内の「ツール」から「MBR の修理」をクリック して起動し、修理するディスクを選択して「実行」をクリックします。

パーティションのチェック

パーティションに論理エラーがある場合、本製品を使ったバックアップができないことが あります。そのため、パーティションのエラーをチェックし、修復してからバックアップ する必要があります。この機能は WinPE Pre-OS もしくは WinPE ブータブル環境のみで利用 することができます。「ツール」>「パーティションのチェック」を選択し、「次へ」をク リックして開始してください。

ログ

「**ログ**」をクリックすると、保存されている全てのバックアップ操作と結果が表示されま す。失敗した操作は赤で示されます。「**ログ詳細」**をクリックして内容を確認できます。

< EaseUS Todo Backup Trial						E	_ □	×
☑ タスク	ログ		Q 検索			目	日 ログをエクスポー	-ト
╋新しいタスク	名前	接続ソース	タスク名	バックアップモード	実行時間	結果		
דם 🗉	バックアップを実行	ローカル	スマートバックアップ	完全パックアップ	2016-09-06 16:10	完了		
向 ライヤル	バックアップを実行	ローカル	スマートバックアップ	完全バックアップ	2016-09-06 15:40	完了		
	バックアップを実行	ローカル	スマートバックアップ	完全バックアップ	2016-09-06 15:10	完了		
ダッール ~	バックアップを実行	ローカル	スマートバックアップ	差分パックアップ	2016-09-06 14:40	完了		
☑ イメージをチェック	バックアップを実行	ローカル	スマートバックアップ	差分バックアップ	2016-09-06 14:40	完了		
③ ブータブルディスクの作成	バックアップを実行	ローカル	ファイルバックアップ	完全バックアップ	2016-09-06 14:14	完了		
₽2V⊐ピー	バックアップを実行	ローカル	ファイルバックアップ	完全バックアップ	2016-09-06 14:13	完了		
回 P2V復元	バックアッププランを作成	ローカル	ファイルバックアップ	完全バックアップ	2016-09-06 14:13	完了		
P2Vの変換	バックアップを実行	ローカル	スマートバックアップ	完全バックアップ	2016-09-06 14:09	完了		
四 テープ管理	バックアップを実行	ローカル	システムバックアップ	完全バックアップ	2016-09-06 13:46	完了		
日 マウント/アンマウント	バックアップを実行	ローカル	システムバックアップ	完全バックアップ	2016-09-06 13:44	完了		
토 iSCSIHI의 - 첫 -	バックアッププランを作成	ローカル	システムバックアップ	完全バックアップ	2016-09-06 13:43	完了		
20日	バックアップを実行	ローカル	スマートバックアップ	完全バックアップ	2016-09-06 13:39	完了		
試用期間が残っています	バックアップを実行	ローカル	スマートバックアップ	完全バックアップ	2016-09-06 13:09	完了		
ライセンス認証	バックアップを実行	ローカル	スマートバックアップ	完全バックアップ	2016-09-06 12:39	完了		

以下の操作が可能です:

「ログをエクスポート」: 全てのログを CSV もしくは XLS ファイルに出力します。 「ログ削除」: 選択したログを消去します。 「ログ詳細」: 個々の操作の詳細を表示します。

基本設定

プログラム画面右上にあるドロップダウンメニュー内に「設定」があります。



「設定」をクリックすると、次のような設定画面が表示されます。「言語」は日本語のみ選択できます。また、「バックアップの保存先」もここで設定できます。

設定		×
言語 日本語		
バックアップの保存先(既定)		
🗎 D:\My Backups	空き容量 101.04 GB / 127.00 GB 🛛 🗸	参照
✔ アップデートを自動的に確認		
🗹 ユーザーエクスペリエンス向上プログラ	ムに参加	
☑ バックアップ時に通知トレイに表示 🕠	0	
	保存	キャンセル

その他の項目については次の通りです:

「アップデートを自動的に確認」のチェックを解除すると、アップデート情報が通知されません。

本製品の動作情報を提供して製品の改良にご協力いただける場合は「**ユーザーエクスペリ** エンス向上プログラムに参加」にチェックを入れてください。

「バックアップ時に通知トレイを表示」のチェックを解除すると、システムトレイに通知が表示されなくなります。

サポート

本マニュアルに記載のない項目でも<u>ナレッジベース</u>に記載がある場合があります。また、 EaseUS Todo Backup のよくあるトピックや詳細情報も利用可能です。(英語)



エラーや不具合を発見した場合、「レポートを作成」して送信してください。



本マニュアルは 2016 年 9 月 1 日現在

http://www.easeus.com/support/download/docs/pdf/Todo-Backup_V9.2_online_help_For -Enterprise.pdf にて公開されている英文マニュアルを編集・和訳したものです。英文マニ ュアルに変更が生じた場合、および英文と和訳の間で記載内容や解釈に差異がある場合は 原則として英文記載の内容または解釈が優先されます。また、マニュアルの記載内容と実 際のソフトの状態に差異がある場合は、ソフトの状態を優先します。